



JSAF

一般財団法人 JSAF
Global Academic Education

留学体験記

グリフィス大学での留学生活

JSAF 2024 年秋派遣 最終留学レポートより

「成長したのは語学力よりも、一人で見知らぬ場所と人に囲まれて生きていく力だと思います。留学を通してコミュニケーション能力が上がったことが、自分にとって大きかったです」

派遣先大学	グリフィス大学(Griffith University／オーストラリア)
在籍大学	獨協大学 外国語学部 英語学科 3 年
留学形態	休学留学
派遣期間	2024 年秋派遣

※本体験記は派遣生の最終留学レポートをもとに読みやすく再構成したものです。個人情報保護のため、氏名・学籍番号等は省略しています。

1. 留学の目的と、その達成

留学の目的： 語学力の向上。

達成できましたか： 達成できました。現地では毎日英語を使わないと生活できず、友達との会話もすべて英語だったので、自然と英語力が伸びていくのを実感しました。

2. 授業と学び

■ 語学研修

学部授業の前に語学研修からスタートしました。クラスはみんなが仲良く、とても楽しい雰囲気でした。国籍は日本人が約 5 割で、ほかに南米や中東などからの留学生がいました。1 日の勉強時間は約 5 時間で、家や図書館で宿題に取り組みました。勉強には Google Scholar が役立ちました。

初日のオリエンテーションは分かりやすく、スムーズに学生生活を始めることができました。

■ 履修科目(学部授業)

学部では観光学(Tourism)を中心に 4 科目を履修しました。いずれもレクチャーとワークショップの形式で、評価はレポート・プレゼンテーション・テストの組み合わせでした。

科目	単位	成績	内容と感想
Global Tourism Systems (1006THS)	10	約 75 /100	観光事業に関する世界的な問題とシステムについて学びました。評価はレポート 2 本とプレゼン。専門的な図を描かなければいけなかったのが大変でした。
Diversity and Culture in Tourism (2110THS)	10	約 70 /100	多国籍な職場環境や顧客にどのように接したらよいかを学びました。評価はテストとレポート 2 本。授業での発言が多く求められ、難しかったです。
Destination Marketing (3200THS)	10	約 71 /100	観光地をどのようにマーケティングすれば効果的かを学びました。評価はレポートとプレゼン 2 本。時間制限のある課題がすごく大変でした。
Sustainable Tourism Practices and Impacts (2204THS)	10	約 68 /100	持続可能な観光事業には何が大切かを学びました。評価はプレゼンとレポート 2 本。クラスが楽しい雰囲気、助け合いながら課題をこなすのが楽しかったです。

※単位は Credit Points。成績は課題別点数の合計を要約したものです。

■ 特にながらった課題

エッセイ・ペーパー： Global Tourism Systems の「Individual Written Workbook」。観光システムの問題の複雑な性質と、それらの相互作用がどのようにフィードバックループを形成するかを説明する課題でした。ループを専用のアプリで描くのが難しかったです。

プレゼンテーション： Destination Marketing の課題で、DMO(観光地マーケティング組織)のマネージング・ディレクターからの緊急の依頼に応じ、制限時間内に週末開催の理事会向けプレゼンテーションを準備するというもの。時間内に内容理解・リサーチ・パワーポイント作成・録画まで行うのが大変でした。

■ 日本の授業との違い

- ・ クラスメイトとグループになって行うワークが多い。
- ・ プレゼンテーションの機会も日本に比べて多いと感じました。

3. 英語力の伸びと工夫

英語力は伸びていると感じます。毎日英語を使わないと生きていけない環境で、友達との会話もすべて英語だからです。特にリスニング力がかなり向上しました。毎日英語を聞き続けたことが大きいと思います。

■ スキル別・苦労した点と工夫した点

スキル	苦労した点	工夫した点
リスニング	ネイティブの話すスピード	毎日会話をして耳を慣れさせる
スピーキング	ボキャブラリーが足りなくて会話が詰まる	会話で使えるワードをたくさん覚える
リーディング	読む量が多い	要約や結論のパートなど、特に読まなくてはいけないところを絞って読む
ライティング	アカデミックな構造の書き方	授業で習ったことを生かして書く

■ 日々の工夫

語学力上達のために、英会話のイベントに積極的に参加しました。

4. キャンパスライフ

■ キャンパスと街の様子

キャンパスは山奥にあり、自然豊かな環境です。大学のある街も自然豊かな場所で、ダウンタウンまではバスで 40 分ほど。近くに大きなモールがあり、おすすめスポットです。治安はキャンパス内外ともに良いと感じました。

■ ホームステイと寮での生活・食事

ホームステイと寮の両方を経験しました。ホストファミリーとはすごく仲良くなり、ホームステイ終了後もよく会っていました。ホームステイ先では、ホストが毎日おいしいご飯を作ってくれました。

寮では、ルームメイトとは挨拶をするくらいの関係でした。食事は自炊が中心で、アジアンスーパーで安くお米を買って炊いたり、お鍋や炒め物を作ったりしていました。

■ ある 1 週間のスケジュール

曜日	予定
授業のある日(週 3 日)	学部授業(レクチャーとワークショップ)に出席
授業のない日	課題や授業準備にあてる
週末	外食は高いので、友達の家を集まって飲んだり話したりして過ごすことが多かったです

■ 交友関係と息抜き

現地の学生とはあまり友人を作れませんでした。他の国からの留学生や日本人の友人はたくさんできました。一番の息抜きは友達と話すこと。日本の家族や友達とは、電話や LINE で週 1 回くらい連絡を取っていました。

■ あると便利なもの

日本から持っていったノートパソコンは毎日使っていました。課題はもちろん、映画を見るのにも活躍しました。

5. 課外活動と旅行

大学内の団体活動には参加しませんでした。たまにテニスをして体を動かしていました。休みの日はカフェに行って過ごすことが多かったです。おすすめは日本人のソーシャルクラブです。

一番の思い出： 友達とのロードトリップです。

6. 費用と持ち物の目安

JSAF 留学プログラム費以外でかかった費用の目安です(豪ドル)。生活費(月のお小遣い)は約 10 万円でした。

項目	金額・備考
国際航空券代(往復)	600 ドル
現地での旅行費用	2,000 ドル
個人的な諸費用(こづかい・買物代など)	2,000 ドル
携帯電話料金	500 ドル
ミールプラン以外の食事代	3,000 ドル
教材費(語学研修・学部)	0 ドル
ヘルスセンター使用料	0 ドル

■ 持ち物のヒント

渡航前にしておけば良かったこと: 事前の(英語)学習。

日本から持ってくれば良かったもの: スキンケア類。

到着後すぐに購入が必要だったもの: シャンプー・トリートメント。

不要だったもの: スニーカーは 2 足以上いりませんでした。

7. 留学を終えて

■ 成長を感じる点

- 語学力よりも、一人で見知らぬ場所と人に囲まれて生きていく力が付いたと思います。
- コミュニケーション能力が上がったことが、自分にとって大きかったです。

■ イメージの変化

オーストラリアは、イメージ通り「人も気候も暖かい国」でした。

■ これからの目標

英語を生かした職業に就きたいと考えています。

8. 同じ大学へ留学する後輩へのメッセージ

「履修を組むときには、テストなどの評価基準を事前にチェックすることをおすすめします」

■ JSAF のサポートについて

出発前オリエンテーションでは、危機管理についての説明が大切だと感じました。話を聞くまではあまり危機感を持てていなかったのですが、留学前に意識を高める良い機会になりました。

本体験記は、JSAF 派遣生による 2024 年秋派遣 最終留学レポートをもとに再構成したものです。